

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2172600468
法人名	社会福祉法人 新生会
事業所名	グループホーム 木もれびの家
訪問調査日	平成20年10月22日
評価確定日	平成20年11月19日
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	2172600468		
法人名	社会福祉法人 新生会		
事業所名	グループホーム 木もれびの家		
所在地 (電話番号)	〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1572番地2 (電話) 0585-44-0533		
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会		
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1 はしま福祉サポートセンター内		
訪問調査日	平成20年10月22日	評価確定日	平成20年11月19日

【情報提供票より】(20年10月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 11 月 18 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤 4 人, 非常勤 10 人, 常勤換算	6.02 人

(2) 建物概要

建物構造	木造スレート葺き造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	90,000~105,000 円	その他の経費(月額)	16,500 円	
敷金	有 (円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (450,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(10月3日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低 63 歳	最高 95 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新生病院、香田歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成12年に開設されたホームは池田町の市街地の一角に位置し、法人病院の他、特別養護老人ホーム、デイケア施設等が隣接している。広い庭には大きな樺の木や緑が多く、季節を十分感じることができる。先日催されたホーム主催のティーパーティーでは地域の方たちの交流を深める場にもなっている。ケアの特徴としては一つ一つの支援が仕組みとしてあることで、それが一人ひとりのケアに反映されていることである。地域住民としての利用者一人ひとりが暮らし続けることを支えることに揺らぎがない。ホームは地域住民とのつながりができていて、地域ボランティアの参加や様々な交流はその関係をより強固なものにしている。さらに利用者の自己決定を尊重する姿勢は具体的なケアで実践され、利用者への挨拶時に一人ひとりが笑顔で自己紹介される様子やお化粧している方が多いことが印象的であった。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善項目は無かったが、毎月職員会議が行われ、評価に対する理解を深めている。運営に対する意見やケアプランに対する検討、運営理念の浸透が行われ、地域密着型サービスの向上に向けて、積極的な取り組みがなされている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は話し合いの上ありのままに行った。その後のサービスの視点に添って利用者の特徴を考えながら話し合い、積極的に取り組んだ。評価の過程から結果まで職員間で共有し、評価に対する理解を深めている。結果はファイルし、家族や来客が閲覧出来るようにしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1度、外部委員を含めたメンバーで開催され、利用者の状況やサービスの情報提供を行っている。外部評価の結果報告や、地域におけるサービスの要望等を話し合い、意見の交換を行った。9月には利用者、職員、運営委員の交流を行い、相互の理解を深めサービスの向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情相談窓口は管理者となっており、意見箱も玄関に設置されている。家族等の意見を運営に反映させるよう、第三者委員の選任もなされている。また、面会時や行事の際にも意見や要望を聞き、全員で話し合い、記録に残し、運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者の日常生活は、希望や能力に合わせて支援されている。母体法人の機関紙「陽の里」や「木もれび通信」を配布し、地域への広報に努め理解を深めている。地域ボランティアの協力もあり、来客や訪問も多数受け入れている。福祉運動会、文化祭、小学校の行事、商工会の歌謡ショー、専門学校の入学式、卒業式等の地域活動に積極的に参加し、地域の人々との交流を深めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人の運営理念と平成12年の開所時から、事務所独自の理念「和顔」が共用空間に掲げられている。地域密着型サービスの観点から見ての理念の再確認はなされていないが、地域の中でその人らしく暮らすことをサポートするために、利用者主体の生活の実現とサービスの向上に取り組んでいる。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員会議や勉強会で理念に対する考えを伝え、日常のサービスの中でも指導し、実践に取り組んでいる。理念を活かしたケアが出来ているかの評価も行っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	母体法人の機関紙「陽の里」「木もれび通信」を配布し、地域への広報に努め理解を深めている。地域ボランティアの協力もあり、来客者や訪問も多数受入れている。福祉運動会、文化祭、小学校の運動会、商工会歌謡ショー、専門学校の入学生、卒業式等の地域活動に参加し、地元の人々との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全員で話し合い、ありのままに評価した。評価の過程から結果まで職員間で共有し、評価に対する理解を深めている。また、具体的改善に向けて積極的に取り組んでいる。その結果をファイルし、家族や来客者が閲覧出来るようにしている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度、外部委員を含めたメンバーで開催され、利用者の状況やサービスの情報提供を行っている。外部評価の結果報告や地域におけるサービスへの要望等を話し合い、意見交換を行っている。9月には利用者、職員、運営推進委員の交流会を実施し、相互理解を深め、サービスの向上に活かしている。		

グループホーム 木もれびの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>母体施設では介護予防教室、モデル事業「施設ケアと在宅ケアの一元化」を受諾する等、地域福祉の向上に行政とともに取り組んでいる。地域包括支援センター主催のケアマネージャー会議にも参加し、情報の共有や発信に努め、自治体との連携を図り、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ほとんどの家族が面会に来られるので、その機会を利用し、日頃の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等よく説明し報告している。「木もれび通信」では日頃の生活ぶりや年間行事等を写真入りで伝えている。管理者や職員の異動についても報告し、了解を得ている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口は管理者となっており、意見箱も玄関に設置されている。家族等の意見を運営に反映させるよう第三者委員の選任もなされている。また面会時や行事の際にも意見や要望を聞き全員で話し合い、記録に残し、運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>信頼関係ができていく職員の異動や離職は、利用者にとってダメージが大きいことを認識している。法人内の異動は最小限に抑えている。やむを得ず代わる場合は、研修によるケアに引継ぎを丁寧に行い、利用者への影響を最小限にする配慮をしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を作成し、事業所内外や海外研修を受ける機会を設け、知識や技術の習得が出来るようにしている。他部署間の階層別研修では報告書を作成し発表を行い、職員を育成する取り組みがなされている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域グループホーム協議会へ参加したり、同系列のグループホーム5ヶ所と毎月開催される会議に出席し、意見の交換や情報の提供を行っている。またスタッフ間の交流会を企画し、各事業所の特徴や課題を分かち合い、活動を通じてサービスの向上に取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の環境の変化に対する不安や混乱を最小限にする工夫として、本人、家族等の見学、デイサービスの試し利用を活用し、他の利用者へ紹介し、利用開始後の面会や外泊等、徐々に馴染めるようにしている。入居開始時に筆筒や飾り棚、写真、仏壇等なじみの持ち込み品を勧め、雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴や生い立ち等を考慮しつつ、普通の暮らしの中に利用者と職員が支え合う関係作りに重点を置いている。梅干、おはぎ、太巻き寿司作り等、利用者が自信を持って行い、職員は教えてもらっている。多くの季節行事等においても、相談し教え合い、喜び合い、支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービスの開始時に詳細なアセスメントを行い、利用者の思いや暮らしへの希望を把握するようにしている。また、介護計画の立案や見直し時には、利用者の家族、デイサービスの職員、看護師等の意見も記録し、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が出来ること、興味あること等、一人ひとりに合った介護計画を作成している。本人、家族、職員、他、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	新規利用者については、暫定の介護計画を1ヶ月で見直しを行っている。継続の利用者については、評価を3ヶ月ごとに行い、入退院時や新たな課題発生時など、必要な関係者と話し合い現状に即したケアプランの変更を行っている。		

グループホーム 木もれびの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の家へ家族の協力を得て、他の利用者と訪ねて柿狩りに出かけたり、季節の衣類等をとり買い物のついでに自宅に立ち寄ったりと柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には利用者のかかりつけ医を断ち切ることはない。受診時には家族から報告を受けたり、家族の同意を得て、直接かかりつけ医と連絡をとって利用者の受診状況の把握がなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期における指針を書面としてもっている。契約時には家族に指針を渡してホームの方針の説明をし、理解を得ている。さらに重度化、終末期の状況になると確認を繰り返して支援する体制をとっている。また、職員も方針の確認をして取り組むこととしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への誇りを大切にした、暖かい親しみのある接し方と言葉遣いである。排泄時と金銭のことについては特に配慮しており、金銭のことは他の利用者がいるところでは話さないことでプライバシーを守るようにしている。記録物は見えない場所に収納して個人情報の管理がなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の基本的スケジュールはあるが毎日の生活は利用者の希望を尊重して過ごすことができるようにしている。		

グループホーム 木もれびの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ある程度の献立はあるが、その日の食材をベースに利用者の希望を取り入れて決めている。買い物も希望する利用者とともにこまめに出かけて買い求めている。食事の準備は強制せず利用者の力や気分に合わせて参加できるようにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回で午後の4時から8時としているが、許す限り利用者の希望に添うようにしている。また、一人で入浴を希望する利用者に対してはさりげない見守りで入浴を楽しむ配慮をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者によって草取り、野菜の世話係、落ち葉掃き、サツマイモ掘りなど自然とできた役割や楽しみごとをもって、それを認め、見守っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの外に出かけることが日常になっている。隣接している法人の施設に出向いたり、近くの花畑を見に行ったり、お地藏様にお参りに行ったりと思いの場所へ出かける支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	朝6時過ぎから夜10時頃までは玄関の鍵はかけられていない。利用者の行動を見守りながら行動の制限をしない取り組みをしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルのもと、避難訓練を年2回行っている。避難訓練は利用者も参加するものとなっている。緊急連絡網作成、災害時の初動体制も3段階にするなど様々な状況が考えられている。		

グループホーム 木もれびの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月1回法人の栄養士に献立を見てもらい栄養バランス等の指導を受けている。水分摂取については1日おおよその目安を決めて利用者に摂ってもらうようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きなガラスの入った戸のある居間が2つあり、採光もよく、利用者がそれぞれ寛げる場所になっている。生花や近所からもらったざくろがテーブルに置かれて季節を感じる配慮がされている。玄関の段差と洗濯場に段差があり、特に洗濯場は利用者が洗濯機を利用するには困難さを感じられる。	○	既存の建物のため制約はあると思われるが、生活行動の広がりが期待できる利用者もいるのではないかと思われる。何らかの工夫を期待したい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が馴染んだ家具や仏壇などが置かれ、その人の生活を大事にした居室となっている。		